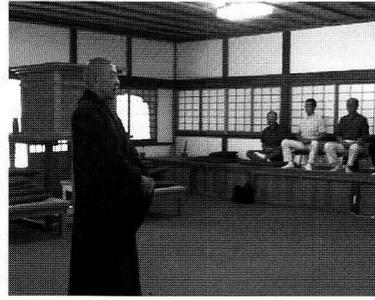


春季散策会

心洗われる新緑の秩父路



山中の靈氣溢れる大陽寺での座禅

小一時間かけて、山間の隘路を登り駐車場に到着。そこから、徒歩で十分ほど上ったところに、鎌倉時代からの古刹があった。

新緑のなかの本堂に参拝の後、東側の小高い敷地にある、座禅堂に入り全員で座禅の講義を受ける。

足を組み、臍下の丹田に気を集め、腹式呼吸で、半眼。深い海の底を覗く心持ちで、無の境地になりなさい、との教え。

六月一四日雨の心配された季節にもかかわらず、当日は晴天に恵まれた。二四名の参加を得て、一路小鹿野の「ようばけ」に向かう。日の当たる崖、の意味を持つ大きな断層を見学。

続いて近くの、おがの化石館では、たまたま見学に來ていた五十歳は年齢差のある小学生と、同じ説明を聞きながら化石の講義を受ける。

そして散策会の目玉の企画、秩父市大滝にある天空の寺、大陽寺。

森の中、鳥の鳴き声が聞こえ、初夏の風は心地よく、住職の警策の活も心地よく、別世界の一時間だったが、吐いて吸っての腹式呼吸に気を取られ、ついぞ、無心になれなかった。寺を辞し、三峯神社の参道口で遅い昼食となった。いつものように、酒宴となり、和氣藹々のうちに食事を終え、帰途となった。新緑と座禅が印象的な一日だった。(広報委員)

ゴルフ同好会

優勝者
島田 邦生(高十二回)

穏やかな天候の中での第五回ゴルフコンペに参加して

初雁会主催の第五回ゴルフコンペは春の彼岸明けの三月二十六日、宇津木清先輩(高七回)のお計らいで、越生の日本カントリークラブで総勢三十四名参加のもと開催されました。当日は曇り空でしたが風もなく、とても穏やかなゴルフ日和でした。

我々のパーティは同期の塩野寿道君、川野健一君の三人。カートでのプレーは移動するたびに会話が弾みました。

関西で過ごした川野君の半生を聞きながら、関東中心に生活してきた塩野君と私とは、関西に縁があったこと、結婚相手のこと、仕事のこと、家族で関東に戻ってきたことなど、まるで人に歴史ありを、山あいのゴルフ場を借景にした舞台でも観ているような不思議な感じの一日であり、ゴルフをしていても次の展開のほうに気がなったりして、まったく拘りのないゴルフが出来たのが結果として

第5回ゴルフコンペ 日本カントリークラブにおいて



て運を呼ぶことになったようです。

川野君、塩野君、楽しいひと時を感謝です。

同窓の方々とのようなひと時を楽しめるのも、初雁会に参加できたからと思っております。これからもよろしくお願ひします。優勝の報告とお礼まで。

広報委員会からのお詫び

前回コンペ優勝者、榎木権一さん(高八回)のお名前を榎木榎一さんと間違えて表記してしまいました。ここにお詫びして訂正いたします。

事務局からのお願ひ

年会費二千円未納の方は、お早めに納入をお願いいたします。

発行人

会長 岩堀 弘明
事務局長 加島 篤人
事務局 川越市六軒町一三十三番地
題字 吉沢翠亭義想
印刷 (株)櫻井印刷所